

としょしつだより

平成30年1月15日
六小図書室

新しい年がスタートしました。まだ読んだことがない本にも挑戦しましょう！

今年もみなさんがたくさんのよい本にめぐりあえるとよいですね。新年をむかえ、読書でも自分の目標を立ててみましょう。現在、図書室の本の数は約1万冊以上。図書室にある本の中には、まだまだ感動する本がたくさんあります。みんなが図書室探検隊になっていろいろな本を探してみてください。さあ、本の宝探しをしましょう。新しい発見があるかもしれません。

としょしつ 図書室のお知らせ

2月の読書まつり

六小図書室では、年に3回、特別な行事があります。まず、一つ目は、「こどもの読書週間」（4月23日～5月12日）、二つ目は、「秋の読書週間」（10月27日～11月9日）、三つ目は、「冬の読書まつり」（2月中）です。冬の寒い時期に、読書まつりで本をたくさん読んで、心をあたためましょう！楽しい企画があります。2月までまわっていきましょう。

あたたかくなる。特別企画・おたのしみプレゼント

～本をかりてスタンプをあつめ、図書室でプレゼントをもらおう！～

2月の読書まつりには、もう1つおたのしみがあります。今年もやります。2月中、図書室で本をかりるとスタンプカードがもらえます。本1さつにつきスタンプ1つです。スタンプ10コでしおりが1まいもらえます。スタンプ20コでしおりがもう1枚、または特別なプレゼントのどちらかがもらえます。スタンプも毎回、ちがう種類のものがおされます。

さあ、みなさん本をたくさんかりて、スタンプをあつめ、プレゼントをもらいましょう。

図書委員による読書まつりの企画を、図書委員の発表の時に考えています。たのしみにまわっていきましょう。

新しい本がはいりました。たのしい本、感動する本、勉強になる本など、いくつかさそえてあります。ぜひかりて読んでみてください。

○今月の「きちんと本をかえす日をまもれたクラス」は、1年2組です。かりた本を期限内にきちんと返しました。すばらしいです。みなさん、返す日はきちんとまもりましょう。よろしくお願いします。

1月のおすすめの本

●きせつの本（おすすめの本コーナー）

○お正月の本と絵本（分類番号：29地理、91～99文学）

お正月は、何をする月かな。何で「お正月」というのかな。行事の本や物語を読んでみましょう。アジア（中国・韓国・ベトナム・シンガポールなど）にもお正月があります。図鑑で調べてみましょう。国によっていろいろなお正月の過ごし方があります。おもしろいですね。世界の地理（分類番号：29）の棚を見てください。

【例】『国際理解ハンドブック』国土社（第1図書室）など。

○冬の本・絵本（分類番号：47植物、48動物、91～99文学）

寒い冬、動植物はどうしているかな？4類・自然科学の本や図鑑を見て調べよう！冬がテーマの物語。雪遊びの楽しい物語や感動する本。読んでみたら、きっと冬が好きになるかもしれないですね。

○今年は何年？

今年の干支は「戌年」。みんなの人気もの、犬の年です。

（分類番号：38行事、48戌、81ことば、91～99物語）

2018年は、戌（犬）年です。「犬」がテーマの本を読んでみよう。干支というのは、十干と十二支を合わせたものです。「戌」は十二支の11番目です。「戌」という漢字は「一（印）」と「戈」という漢字からなりたっています。昨年の「酉」は作物が収穫できる状態を表し、「戌」は作物の収穫後を表すという考え方があります。もともと十二支の漢字には動物の意味はなく、みんなが十二支を覚えやすくするために、身近な動物が当てられたそうです。

「犬」について調べたり、「犬」が出てくる物語を読んでみましょう。いろいろな種類の犬がいます。図書室で、本をさがしてみよう。

○日本の伝統遊びの本・絵本（分類番号：79娯楽、91～99文学）

昔の遊び。風揚げ・こま回し・双六・かるたや小倉百人一首について
しらべてみよう。お正月の三が日を過ぎても、日本ならではの行事が続
く1月。日本の伝統文化を大切にしていきたいですね。

【正月の遊び】



古くから伝わる遊びには、「たのしくわらうことで厄をはらい、福を
まねきいれよう」という願いがこめられています。

- 風…平安時代に中国からつたわりました。初めは、豊作をうらなう
ための道具、後には情報を伝える合戦の道具として使われ、江戸時
代ごろより、広く親しまれるようになりました。
- 羽根つき…江戸時代、女の子の成長を願って、羽子板を贈り物とし
て使うようになりましたが、今でも、その習慣がのこっています。
- こままわし…世界中に古くからあるおもちゃ。むかしは先のとがっ
た貝やどんぐりなどを使っていました。今のようなこまは、平安時
代に朝鮮半島の高麗から伝わり、高麗は「こま」ともいわれていた
ため、名前の由来になりました。

○日本の伝統芸能の本・絵本（分類番号：79娯楽、91～99文学）

日本に古くから伝わる「歌舞伎」「狂言」「能」など。写真でわかり
やすく解説している本もありますので、興味がある人は読んでみてくだ
さい。



○日本のむかしばなしをよんでみよう（分類番号：91日本の文学）

読んだあとになぜかやさしい気持ちになれる日本のむかしばなし…。
現在人気のある本もよいですが、むかしばなしも読んでみると、よい
かもしれませんね。みんなが住む館林にも有名なむかしばなしがありま
す。「ぶんぶくちゃがま」という話です。知っている人も多いと思いま
す。堀工町にある茂林寺に伝わるお話です。茂林寺に行くとたぬきの像
があります。茶釜に入ったたぬきがお寺のおしょうさんの前で不思議な
ことをするお話です。伝説の茶釜も茂林寺に保存されているそうです。
6年生のみなさんは、日本の古典にも挑戦してみよう。



＜1月の作家＞ 椋 鳩十（1905年1月22日～1987年12月27日）

長野県生まれ。生家は牧場を経営し、幼いころから動物に親しみました。法
政大学卒業後、鹿児島で教師をしながら創作を続け、雑誌「少年倶楽部」で活
躍しました。著書は『片耳の大鹿』『マヤの一生』『孤島の野犬』『大造じい
さんとガン』など多数あります。また「母と子の20分間読書」の提唱者として
も知られています。



＜図書室にある本の紹介＞

『マヤの一生』…戦争を題材にした物語。家族の一員として育った子犬のマヤ。
やがて戦争が始まり、マヤは戦争の犠牲になります。とても悲しい物語。
『大造じいさんとガン』…5年生の教科書にのっています。ガンは雁とも呼ば
れる渡り鳥です。このガンの群れのリーダーと年老いた猟師との知恵比べの
物語です。
『片耳の大シカ』…この物語は九州の南にある屋久島の自然と、そこに棲息す
るヤクシカの習性、シカ狩りの方法などが書かれた興味深い作品です。
その他、図書室には椋鳩十の本がたくさんあります。ぜひ、読んでください。

＜12月の図書の貸し出し数＞ どれだけ本を読めたかな？

【1位】3年2組 524さつ 【2位】2年2組 481さつ
【3位】3年1組 440さつ

12月の貸し出し総数は、3,756さつでした。

＜2学期の図書の貸し出し数＞

【1位】3年2組 2,461さつ 【2位】1年2組 1,709さつ
【3位】3年1組 1,681さつ

2学期の図書の貸し出し総数は、15,596さつでした。

＜冬休みに読む図書の貸し出し数＞ どれだけ本を読めたかな？

【1位】3年2組 225さつ 【2位】1年2組 198さつ
【3位】3年1組 170さつ

12月18日（月）～12月21日（木）の4日間、本を一人5さつまで
貸し出しをしました。

冬休みに読む図書の貸し出し総数は、1,485さつでした。

みなさん、たくさん本を読みましたね。図書室にはいろいろな種類の本があ
ります。これからも図書室の本をたくさん読んでみてください。

